

卒寿なる吾が母もまた

連作和歌 百首歌集 2011/1/22 - 2012/4/02

- |      |                                |     |              |
|------|--------------------------------|-----|--------------|
| 8801 | 卒寿なる吾が母もまた十七の娘気遣ふ食事用意す         | 丹仙  | 1月22日 22時45分 |
| 8802 | 逝く七日前まで元気に針しごと米寿明るき祖母を偲びて      | 真奈  | 1月24日 20時32分 |
| 8803 | ゆれる火に祖母の御教え蘇る土間の厨辺三口の竈         | 寂   | 1月24日 23時59分 |
| 8804 | 父母の老いたる日々のことなどを少しく分かる心根にわが     | 重陽  | 1月25日 17時37分 |
| 8805 | 「父母居まさば遠くに遊ばず」と昔読みし論語にありし      | 弁慶  | 2月1日 00時09分  |
| 8806 | 様々な事学ぶ背の二つあり師の生くる様父の死に様        | やんま | 2月3日 00時54分  |
| 8807 | おなじ島へその旅ごとの喜びにまた来年と喜寿なる我ら      | 重陽  | 2月5日 05時04分  |
| 8808 | ウィキリークス開けたら何が出るのやらをのころ島の眠れぬ我ら  | 茉莉花 | 2月10日 09時37分 |
| 8809 | 家並みをうっすら白く刷く雪に春はすでにと思い目覚めり     | 重陽  | 2月12日 05時42分 |
| 8810 | 綿雪の降る足柄の関の跡夕闇迫る吾妻への道           | 弁慶  | 2月16日 00時31分 |
| 8811 | 越えるべき関になってしまった革命児カダフィ大佐の最後のお芝居 | 真奈  | 2月22日 23時14分 |

8812	人間の面をつけたる獣の咆哮なりしカダフィなるは	重陽	2月28日 05時33分
8813	われ思うゆえに我なり一筋の道歩き来て桃の花咲く	やんま	3月3日 05時28分
8814	鉛筆をぐるぐる回す受験子をパスカル先生何に喩える	水	3月3日 09時37分
8815	二十歳おのれの哲学持つ年と教えし恩師の慈眼偲びて	茉莉花	3月3日 14時10分
8816	シジフォスの労きに似し日々なるも学の始元を忘れまじとぞ	真奈	3月4日 11時09分
8817	ゼミの師を偲びて集う七十余思いは深きゼミナリスト	重陽	3月5日 12時36分
8818	高千穂不燃岳は祈るごとくに鎮まれり東の天災人災悼みて	水	3月26日 11時17分
8819	敬虔な心忘れし人間の愚かなるをば思ふやがわが	重陽	3月27日 09時24分
8820	恐い夢覚ます術なき春暁のアホウアホウと鴉鳴きゆく	やんま	4月3日 07時31分
8821	不似合の極みとぞ思う夕暮れに鴉群れけり峯の桜に	弁慶	4月10日 14時47分
8822	不似合いの礼の言葉の国訛り津波にすべて奪われしひと	重陽	4月12日 07時40分
8823	花吹雪小夜の中山隠しけり遠州駿河の国境をも	弁慶	4月15日 21時19分
8824	浜岡の街の近くに消えぬ火のありて眠れぬ沈黙の春	丹仙	4月17日 21時37分
8825	米中の核実験におびえつつ昭和は死の灰死の雨測りき	水	4月18日 11時38分

8826	畏れなき過信の果ての人災にしみじみ人は愚かなるもの	重陽	4月19日 07時39分
8827	迫りくる一寸先の波かぶる未来が今に時の流れは	くりおね	4月22日 10時08分
8828	笑ふ時泣く時または忍ぶ時刻一刻と過去へ消え去る	やんま	5月3日 07時13分
8829	災いにすべて奪われ生きていていいかと問いし老人がいる	重陽	5月3日 17時13分
8830	三陸の津波の被災者数多し微笑み返しのスーちゃんも逝く	弁慶	5月18日 01時28分
8831	春知らずこの世を去りし人を看て我には幾春ありやと思ふ	ぎを	5月30日 08時36分
8832	来し方をすべて奪いし原発禍オロオロ歩く老いし里人	重陽	6月1日 06時46分
8833	来し方も行く末又は夢の中身に余りたる難題の山	やんま	6月3日 06時07分
8834	なにもかも今は昔と思ひけり紫煙はとほき月にとどかず	白馬	6月3日 14時57分
8835	年ふればすすろに昔のおもはゆる旧知の人とかたらふごとくも	ぎを	6月5日 02時18分
8836	思い出はうたかたの夢スタントンの苔むす墓石をみしこともまた	道	6月5日 10時34分
8837	阿弥陀寺の開け放された本堂に座して心に山水の音	重陽	6月6日 13時35分
8838	毎朝の般若心経胸深く被災の人に平穏な日を	白馬	6月11日 22時27分
8839	テレビには無常を語る深い皺ノッペラボウの為政者の顔	雛菊	6月23日 13時44分

8840	跡形も無き街並を声高くガレキ神輿に思いを懸けて	重陽	6月27日 11時15分
8841	原子の火曝すや夏の逆光線フクシマの教訓また安全神話に	真奈	6月28日 02時05分
8842	遠野村会議で決めし事一つ河童の皿にセンサー装着	やんま	7月5日 17時55分
8843	夏雷をひっ捕まえし小子部むかし遠野にいたやもしれず	弁慶	7月5日 23時17分
8844	大臣の恐喝めいたお話はお里を知れば已む無きことよ	重陽	7月6日 16時22分
8845	紫陽花や瓦礫の傍に咲き出づる命あれかし七色の生	丹仙	7月29日 00時13分
8846	いくさ世に飢餓原爆の地獄みて癒えざる心原発拒む	水	7月29日 13時32分
8847	しづしづと鳴くおづおづと鳴く蝉よ今年の夏は何を背負うた	雛菊	7月31日 14時08分
8848	露の世の花の終りの糸とんぼ苔むす岩に羽の震るふる	やんま	8月3日 03時59分
8849	いく度の地震(なみ)に慣れたる人毎もあの忌まわしき酷忘れめや	重陽	8月3日 08時22分
8850	原発の安全神話に騙されしその責めはまた我らにもあらんと	真奈	8月8日 19時33分
8851	この星の幼年期いつ終るやらくコラゲンシリョクでヒアそビスるナ	ギオ	8月12日 00時57分
8852	原発に警報鳴らせし熊取の学者をすべて教授に上げよ	匿名氏	8月13日 14時35分
8853	福島胡瓜を買ひて噛みしめよ老者を叱る反骨の人	丹仙	8月19日 21時32分

8854	C Gの如くに侵す大津波あの映像をあの慟哭を	重陽	8月23日 05時35分
8855	五感には感知できないセシウムを牛たち食めり人を信じて	水	8月23日 10時05分
8856	沿道で求めし桃にかぶりついた新婚のドライブ福島の里	雛菊	9月1日 08時51分
8857	福島と柏市までの道のりを風やすやすとセシウム運ぶ	やんま	9月3日 02時17分
8858	この秋のいつも心にうずくもの 311と911とが	重陽	9月13日 05時02分
8859	地球には人が住むから災禍多し十五夜の月災禍をさばく	水	9月13日 11時04分
8860	シャトルからライブで届く地上の灯地球が正に息する如く	重陽	9月19日 13時41分
8861	我なりに宇宙観抱き自愛せり老を敬まふ今日このごろは	やんま	10月3日 08時06分
8862	宇宙項日の目をみたり膨張論恐ろしき穴ブラックホール	白馬	10月5日 11時45分
8863	今もなお土台ばかりの津波跡褻の営みは未だ見えざり	重陽	10月23日 05時59分
8864	日常は3.11を遠ざけるな茗荷の花咲く薄暗がりに	道	10月24日 18時03分
8865	一切を捨てたる吾に何残るあは山頭火みちのくの雨	やんま	11月3日 00時04分
8866	無花果の落葉は掃かず紫煙吐く空見上げればかかる半月	白馬	11月4日 19時39分
8867	擦過傷のやうな思ひ出 いちぢくの落ち葉に時雨が降りすぎてゆく	たまこ	12月1日 06時37分

8868	時雨れ降る足柄山の道辺に和泉式部の誕生石あり	弁慶	12月3日 14時37分
8869	萎え足の我伴ひし足柄はかの日あの時君が心ね	やんま	12月4日 08時42分
8870	冬晴の空に驚く歳の暮あなた任せの今日始まりぬ	丹仙	12月5日 09時58分
8871	ゆく歳の憂きこと捨てて真白なる富士の勇姿に春をば待たん	白馬	12月6日 15時20分
8872	峠越えて海の彼方に雪の富士伊豆に生まれし我は幸せ	弁慶	12月7日 00時07分
8873	霜月の富士は真っ白く耀けり十一日の朝の光に	重陽	12月11日 05時09分
8874	元日の空や龍猛菩薩起ち八不宝珠をしかと護れり	丹仙	1月1日 12時31分
8875	ビル街に江戸の名残の稲荷あり人影もなく詣る元日	真奈	1月2日 20時22分
8876	願えどもお稲荷様はすまし顔御籤小吉日々の安穩	やんま	1月3日 07時54分
8877	神棚にお守り札を供えては去年のように今年を祈る	重陽	1月4日 05時10分
8878	年賀札外して松の内は過ぎ日々の生活始まりにけり	白馬	1月13日 19時37分
8879	なにごともなきかのごとく月日すぎ寒々としてあの日近づく	くりおね	1月16日 22時20分
8880	遠近の陸（おか）に骸（むくろ）の漁の船十月を経たるテレビに見えて	重陽	1月18日 05時02分
8881	ピンポイントの我には災禍なく過ぎてまたこの年をとほとほと行く	やんま	2月3日 14時29分

8882	ほかほかの春の光りを待ちわびて干した布団に手足を伸ばす	くりおね	2月5日 11時05分
8883	土手添いの小さき窪たがためぞ光を纏い咲くいぬふぐり	寂	2月6日 00時43分
8884	うすらいは消えゆき春の峡の道葦の草笛たれか吹いてよ	道	2月6日 08時49分
8885	尻尾ふり犬駆け走る散歩道日陰に残る雪踏みながら	くりおね	2月6日 20時20分
8886	避寒にて訪う熱帯の小島にて珊瑚いろどる魚と戯むる	重陽	2月13日 10時16分
8887	わが手より放ちやる魚すいすいとめざせよ広き大いなる海	真奈	2月21日 00時03分
8888	手に余るシャベルを持ちて菜園に遊ぶ幼なをつつむ春の陽	ぼくる	2月21日 14時02分
8889	待ちきれず二月の海の水温を計りて磯の春を待つなり	重陽	2月22日 06時21分
8890	無花果の小さく尖りし芽の出でて青空向けて気を発しをり	白馬	2月22日 21時20分
8891	閏日の舞ふ淡雪に目覚むらしサンシュの黄を心待ちにす	重陽	3月5日 13時53分
8892	震災の報道あまた見て硬しわたしに何が出来るだろうか	しゅう	3月11日 20時55分
8893	慟哭の山河となりし陸奥にひと年を経し春の巡り来	ぼくる	3月12日 07時11分
8894	ボール追う脚皆止めて北向きて14:46黙禱捧ぐ	白馬	3月12日 17時26分
8895	濁流の手にうばわれてゆきしかば万朶の花をふりそそぐべし	道	3月12日 18時44分

8896	瓦礫など無用無用と声高に天に唾棄する悲しき絆	重陽	3月16日 09時20分
8897	西の空にはオリオンの1500年前からの光りがとどく	くりおね	3月18日 23時47分
8898	小鳥鳴くガリラヤ湖畔は春日満ちイエスの跡の芳しきかな	ぼくる	3月28日 14時12分
8899	オリオンは西に過ぎ行き中天に北斗七星座を占めにけり	白馬	3月30日 20時14分
8900	悠久の天はめぐりて相似たり歳々人は共に熟れゆく	重陽	4月2日 08時15分